作成日 1993 年 6 月 14 日
改定日 2024 年 10 月 1 日

安全データシート(SDS)

1. 製品および会社情報

製品名	デゾレートAZ 粒剤
会社名	株式会社カーリット
住所	〒377-0004 群馬県渋川市半田 2470 番地
発行部門	安全品証部
電話番号	0279-23-8812
ファクシミリ番号	0279-23-8642
緊急連絡電話番号	同上
整理番号	A-1020
推奨用途	農薬(除草剤)
使用上の制限	上記以外の用途での使用不可

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

酸化性固体	区分2

環境に対する有害性

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2B
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1A
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(呼吸器免疫系、腎臓)

上記に記載がない危険有害性項目は「区分に該当しない」または「分類できない」。

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報

H272 火災助長のおそれ;酸化性物質
H316 軽度の皮膚刺激
H320 眼刺激
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 発がんのおそれ(吸入)
H373 長期にわたる、または反復ばく露により呼吸器、免疫系、腎臓の障害のおそれ

注意書き

[安全対策]
P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P220 衣類および可燃物から遠ざけること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 粉じん／ミスト／スプレーを吸入しないこと。
[応急措置]
◆ 火災の場合:消火するために大量の水を使用すること。

◆ 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
◆ 皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
◆ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。
◆ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
◆ ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

[保管]
施錠して保管すること。

[廃棄]
内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物		
化学名または一般名	塩素酸ナトリウム	炭酸水素ナトリウム	鉱物質等
慣用名または別名	塩素酸ソーダ	重炭酸ナトリウム、重曹	－
成分、濃度または濃度範囲	50%	30%	20%
官報公示整理番号	(化) 1-239 (安)公表	(化)1-164 (安)公表	－
CAS No.	7775-09-9	144-55-8	－
GHS 分類に寄与する成分	－	－	結晶質シリカ (CAS:14808-60-7、14464-46-1)として 1-4%程度含有

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察／手当てを受ける。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。気分が悪い時は、医師に連絡する。
急性症状および遅発性症状の最も重要な徴候症状	吸収：低酸素症（チアノーゼ、虚脱、痙攣）、腎機能障害 [1)]

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、強化液、泡、消火粉末（りん酸塩類等）
使ってはならない消火剤	二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末（炭酸水素塩類） （空気遮断用途では効果が期待できない）
火災時の特有の危険有害性	火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。 火災時に、一酸化炭素等の他、塩素、塩素酸化物等の有毒ガス（ヒューム）が発生するおそれがある。
特有の消火方法	可燃物と混合し発火すると酸素を放出し極めて迅速に燃えるので、空気を遮断す

	る方法は適切ではない。消火には大量の水を使用するのが最も有効である。 火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取除く。 関係者以外は安全な場所に退去させ、立入りを禁止する。 周辺火災時、移動可能な製品は速やかに安全な場所に移す。 移動不可能な場合は、周囲に散水して冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、防護服)を着用する。 消火活動は風上から行い、有毒ガス(ヒューム)の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入、誤飲を避ける。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	除草剤として植物に対して無選択に作用して植物を枯らすので、除草目的以外で土壌などに散布してはならない。 漏出物や汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないよう注意する。
封じ込めおよび浄化の方法および機材	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。 付着物、回収物などは、速やかに専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
二次災害の防止策	周囲のすべての着火源、可燃物を取除く。 清掃に使用した道具類(ほうき、ブラシ等)はよく水洗する。 可燃物に付着したまま乾燥すると僅かな火点で発火するおそれがある。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	
技術的対策	屋内での取扱いは、局所排気、または全体換気の設備のある場所で行う。 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざける。
安全取扱注意事項	みだりに粉じんが発生しないように取扱う。 すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わない。 散布する時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン、長袖作業衣等を着用する。
接触回避	可燃物や酸化されやすい物質との接触を避ける。 強酸、有機物、油脂類、金属粉の混入、接触を避ける。
衛生対策	取扱い後は手をよく洗う。 汚染された衣服はよく水洗いする。
保管	
安全な保管条件	可燃物および指定された禁忌物質から離して保管する。 禁煙、火気注意の標識を立て、火気を使用しない。 換気の良いところで、容器を密閉して保管する。 冷暗所に施錠して保管する。 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、はりを不燃材で作る。
安全な容器包装材料	ポリエチレン

8. ばく露防止および保護措置

許容濃度等	
管理濃度	3.0 / (1.19Q + 1) Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)
日本産業衛生学会(2023)	結晶質シリカとして 0.03mg/m^3
ACGIH(2017)	結晶質シリカとして TLV-TWA 0.025mg/m^3
設備対策	取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
保護具	

呼吸用保護具	農薬用マスク(防じんマスク)
手の保護具	不浸透性保護手袋
眼、顔面の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚および身体の保護具	静電気防止加工長袖作業衣

9. 物理的および化学的性質

物理状態	固体
色	類白色
臭い	データなし
融点／凝固点	248℃(原体)[1)]
沸点または初留点、沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界および爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	約 300℃(原体)[1)]
pH	7.8～8.0
動粘性率	データなし
溶解度	水:100g/100mL(20℃)(原体)[1)]
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度または相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	かさ比重:1.0～1.2

10. 安定性および反応性

反応性	データなし
化学的安定性	常温常圧で安定
危険有害反応可能性	可燃物や還元性物質と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	加熱、衝撃、摩擦
混触危険物質	可燃物、還元性物質
危険有害な分解生成物	塩素、塩素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	経口: ラット LD_{50} ♂♀＞5000mg/kg(区分に該当しない) マウス LD_{50} ♂♀＞5000mg/kg(区分に該当しない) 経皮: ラット LD_{50} ♂♀＞2000mg/kg(区分に該当しない) 吸入: 粉じん(原体) ラット LC_{50} ♂♀＞5.1mg/L(区分に該当しない) 分類に必要十分なデータがないため、分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	ウサギ 軽度(区分 3)
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ウサギ(非洗眼) 中等度(区分 2B)
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	モルモット 陰性(区分に該当しない)
生殖細胞変異原性	塩素酸ナトリウム:Ames test、Rec Assay、染色体異常試験 いずれも陰性 結晶性シリカ:In vivo でも In vitro でも試験によって陽性と陰性の結果が混在するが、ガイダンスに従い、区分 2 とした。[1)]

	生殖細胞変異原性区分 2 の成分濃度≧1%より区分 2 とした。
発がん性	結晶性シリカ:IARC で Gr.1 に分類されている。[1)] 当製品の含有率が区分 1A≧0.1%により、区分 1A とした。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	結晶質シリカ:ヒトにおいて呼吸器、免疫系、腎臓に影響を及ぼす(区分 1)との記述がある。[1)] 当製品の含有率が 10%>区分 1>1%により、区分 2 とした。
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	魚類(ニジマス)EC_{50}(96h) >3950mg/L 甲殻類(オオミジンコ)EC_{50}(48h) >1500mg/L 藻類 EbC_{50}(72h) >1000mg/L 以上のデータより、区分に該当しないとした。 難水溶性ではなく、また急性が区分に該当しないため、慢性有害性も区分に該当しないとした。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器および包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号	1495
品名(国連輸送名)	塩素酸ナトリウム
国連分類	クラス 5.1(酸化性物質)
容器等級	Ⅱ
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策	積み下ろし時の衝撃、摩擦、火気に注意する。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。荷崩れ防止を確実に行う。
国内規制情報	海上輸送:船舶安全法、港則法に従う。 航空輸送:航空法に従う。
応急措置指針番号	140

15. 適用法令

農薬取締法	農林水産省登録 第 23761 号
消防法	非該当
毒物劇物取締法	劇物(指定令第 2 条)
化審法	対象外(農薬取締法対象のため)(法第 55 条)
労働安全衛生法	危険物・酸化性の物(施行令別表第 1 第 3 号) がん原性物質(規則第 577 条の 2 第 5 項) (結晶質シリカ)(令和 8 年 4 月 1 日以降、塩素酸ナトリウム)

	名称等を表示すべき危険有害物(法第 57 条、施行令別表第 9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第 57 条の 2、施行令別表第 9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第 57 条の 3)
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	指定物質(法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3)(塩素酸及びその塩)
土壌汚染対策法	非該当
水道法	水質基準(法第 4 条第 2 項)(塩素酸)(塩化物イオン)(ナトリウム及びその化合物)
船舶安全法	酸化性物質類・酸化性物質(危規則第 3 条、危険物告示別表第 1)
港則法	その他の危険物・酸化性物質類(酸化性物質)(法第 21 条第 2 項、規則第 12 条、危険物の種類を定める告示別表)
海洋汚染防止法	非該当
航空法	酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第 194 条、危険物告示別表第 1)
道路法	非該当
化学物質管理促進法(PRTR)	第 1 種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(塩素酸ナトリウム)

16. その他の情報

引用文献	1)安全衛生情報センターモデル SDS 「塩素酸ナトリウム」(2023 年 3 月 31 日改訂版) 「結晶質シリカ(石英)」(2016 年 3 月 31 日改訂版) 「結晶質シリカ(クリストバライト)」(2016 年 3 月 31 日改訂版)
記載内容の問い合せ先	○全般的な窓口 株式会社カーリット 化成品部 TEL 03-6685-2046 FAX 03-6685-2050 ○技術的な内容について 株式会社カーリット 群馬工場生産技術グループ TEL 0279-23-8896 FAX 0279-23-8480 ○法令・規制等について 株式会社カーリット 安全品証部 TEL 0279-23-8812 FAX 0279-23-8642
記載内容の取扱い	この安全データシート(SDS)は、JIS Z 7253:2019 に従って作成しています。なお、記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成してありますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。